

# JAMES CAMERON

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU

- Chairman of Global Sustainable Capital Management (GSCM)
- Advisory Council at Neste (Finland) and Heathrow 2.0
- London Sustainable Development Commissioner



ジェームズ・キャメロンは、世界的な気候変動運動で受賞歴のある権威であり、30年以上の経験を持つ法廷弁護士であり、金融、法律、学術、政府機関全体の理事会および諮問委員会の委員を務めています。これらには、タコ<sup>®</sup>ORIT<sup>®</sup>Systemiq<sup>®</sup>受粉グループTulchan<sup>®</sup>ソーラーセンチュリ<sup>®</sup>AVAIOキャピタル、クラウンエージェント、海外開発研究所<sup>®</sup>Chairman 2012 - 2020<sup>®</sup>が含まれます。

ジェームズは2015年までClimate Change Capital<sup>®</sup>CCC<sup>®</sup>の会長を務めていました。この会長は、2003年に共同設立し、管理下にある16億米ドルの150人。CCCの前は、ベーカー & マッケンジーの顧問弁護士であり、気候変動とクリーンエネルギーの実践の創設者および責任者であり、国際環境法開発財団<sup>®</sup>FIELD<sup>®</sup>と国際環境法センター<sup>®</sup>CIEL<sup>®</sup>を共同設立しました。 )。

彼は、小島嶼国連合<sup>®</sup>AOSIS<sup>®</sup>の顧問としてUNFCCCや京都議定書の交渉など、気候問題に焦点を当てた法的なキャリアの多くを費やしてきました。

ジェームズ・キャメロンはCOP26の友人でありCOP22<sup>®</sup>COP23気候変動交渉の議長国の顧問であり、ロンドンの持続可能な開発委員会の委員でした。彼は、イェール、オックスフォード、ケンブリッジ、インペリアルカレッジロンドン、コロラド鉱山学校で学術的な任命を受けています。

## Topics

- Change
- Environment